

## 個人投資家向け会社説明会 ミーティングメモ

広栄化学工業株式会社 (4367) <http://www.koeichem.com/index-j.htm>

日時：2007年11月23日

場所：大和コンファレンスホール

説明者：代表取締役社長 長尾 雅昭 氏

### 1. 当社の沿革

- ・ 設立は1917年6月で、今年は90周年という節目の年に当たります。企業30年寿命説といわれますが、寿命を3周したということで、新たな30年のスタートを切ったところですよ。
- ・ 90年前、当時の製薬業界で御三家と言われました塩野義製薬(株)、武田薬品工業(株)、旧田辺製薬(株)の3社によって設立され、酢酸の製造販売から事業を始めました。1954年に住友化学(株)の子会社となり、以後、同社が当社の筆頭株主となっています。1997年9月には大阪証券取引所第2部に上場しました。今年は上場10周年という節目の年にもなっています。
- ・ 当社の製造拠点は大阪と千葉にあります。千葉プラントは、40年前に住友化学(株)が千葉に進出したのに伴い、当社も千葉に第2の製造拠点を設けたものです。研究所も大阪と千葉がありますが、こちらのほうは大阪がメインになっています。営業・開発・物流購買・本社は東京にオフィスがあります。

### 2. 主力製品

- ・ 当社は化学品のメーカーです。分子構造の中にN(窒素元素)がありますが、化合物の中に窒素を含む含窒素化合物あるいは窒素化合物に当社は特化しています。こうした窒素化合物をさらに加工し、もう少し複雑な化合物にしてお客様にお届けをしていますが、それらは医薬品、農薬といった人の命を守る製品の原料になっています。また、その他にも様々な分野で人々の生活を豊かにする機能製品の原料にもなっています。

### 3. 当社の特色・強み

- ・ 空気中の約8割は窒素元素で占められています。また、窒素元素は体内の遺伝子あるいはたんぱく質に不可欠な元素です。古来、お薬として広く用いられてきた薬草には、その主成分に窒素を含んだものが数多くあります。そこからヒントを得て、現在では、医薬・農薬に窒素を含んだ化合物が幅広く使われています。また、医薬、農薬以外にも、エネルギー、電子材料、環境分野等の用途があり、当社の窒素化合物が幅広く使われています。当社は、窒素化合物については世界でも有数のメーカーとの評価を受けており、窒素化合物のスペシャリスト、パイオニア、ベストソリューションプロバイダーとしての地位を確保しています。

大和インベスター・リレーションズ(株) (以下、「当社」といいます。)はこの資料の正確性、完全性を保証するものではありません。ここに記載された意見等は当社が開催する個人投資家向け会社説明会の開催時点における当該会社側の判断を示すに過ぎず、今後予告なく変更されることがあります。当社は、ここに記載された意見等に関して、お客様の銘柄の選択・投資に対して何らの責任を負うものではありません。この資料は投資勧誘を意図するものではありません。当社の承諾なくこの資料の複製または転載を行わないようお願いいたします。

- 
- ・ベンゼン骨格に窒素が 1 つ入ったものをピリジンといい、当社の基本的な製品のひとつです。現在、ベンゼンは 1 キログラム当たり 100 円ぐらいの製品ですが、ピリジンになりますと 800 円ぐらいになります。さらに、このピリジンを化学的に様々に加工して得られた当社の製品は 1 キロ当たり何千円、何万円、あるいは何十万円というものもあり、そういう意味では、当社は高付加価値型の化学品メーカーであるといえます。

#### 4. 主な製品紹介

- ・当社の主な製品は、ファインケミカル製品と化成品に分けられます。当社の売上の 4 分の 3 はファインケミカル製品によって占められており、残りの 4 分の 1 が化成品です。ファインケミカル製品は、医薬原料、農薬原料、機能性化学品に使われます。この機能性化学品は、具体的には、イオン液体、ポリマー製造用触媒、有機 EL の構成物質、色素増感型太陽電池などに使われています。化成品の主力商品はペンタエリスリトールで、これは多価アルコール類の一種であり、主として塗料の原料に使われます。携帯電話の非常にかたい塗膜、こういうものの塗料の原料になっています。なお、このペンタエリスリトールは、多くのメーカーが淘汰され、現在では当社が日本で唯一のメーカーとなっています。

#### 5. 新中期経営計画（W-Win Plan）

- ・2001 年、02 年、この 2 年間、当社は大変な苦しい時期を経験しました。2 年連続で大幅な最終赤字を計上しました。そうした中で、収益構造改革計画を立案し、思い切ったリストラを実行しました。幸い、2003 年には早くも若干の黒字を計上し、赤字企業からは脱却することができました。その成果を受け、2004～06 年、前中期経営計画が立案・実行されました。持続的な成長が可能になるような基盤固めを目指しました。途中、原燃料価格高騰等の逆風が吹きましたが、2006 年度はほぼ同計画で掲げた目標を達成することができました。そして、2007 年、新たな 3 年間の新中期経営計画を策定しました。事業の構造改革を進めながら、収益等の持続的成長を図って、株主に報いる、お客様に選んでいただけるよう顧客満足を基本としながらも、そのなかで従業員が日々生き生きと働けるような活力のある会社になろうと、「W-Win Plan」と呼んでいます。キャッチフレーズは「キラリとかがやく“化楽”でつくる、もの・人・夢」です。
- ・新中期経営計画を達成するためのキーは 5 つあります。第 1 に、これまでもそうでしたが、含窒素化合物のベストソリューションプロバイダーとして、ここにこだわりを持ち続けること。第 2 には、窒素化合物の経験の上に新しいコアテクノロジーを確立し、市場開拓をしていくこと。3 つ目が製造部門・研究部門の千葉統合です。大阪と千葉に分散している製造・研究を 2009 年までにすべて千葉に統合するプロジェクトを現

---

を進めています。既に開発プラントは昨年に移設を完了し、2008年には残りの製造設備、2009年には研究施設をすべて千葉に集中します。こうして名実ともに製造・研究の一体化が図れ、大幅な効率化が図れると考えています。4つ目は生産改革です。当社は、昨年(06年)、トヨタ式のプロダクション方式を千葉プラントに導入しました。現在、すべての工場にこれを横展開しているところですが、この生産改革により大幅な生産性アップを図りたいと考えています。5つ目は、お客様の満足を第一に考えながら、従業員が毎日を生き生きと働ける活力ある企業風土を築くことが大切なポイントということで、具体的な取り組みを種々おこなっています。

## 6. 新製品の開発状況

- ・ 新中期経営計画の成長を支えるものは新製品の開発です。当社の新製品は、既存品と同じく窒素化合物を展開した医薬中間体を中心ですが、その他にも既に具体化している新製品群があります。そのひとつがイオン液体であり、ディスプレイ材料であり、さらにはこうした有機中間体の研究・製造を通じ獲得した高度な合成技術を駆使して新たな分野である有機金属錯体触媒の分野に進出し、経営資源を集中的に投入しています。
- ・ 製薬会社で年間10億ドル以上の売上を上げる製品のことをブロックバスターと呼びますが、当社は、今、国内外の数社に対しそれぞれ、ブロックバスターになることが期待される医薬品の中間体原料を供給する予定です。また、数品目で終わってはいけませんので、常にパイプラインを満たすように研究を続けています。
- ・ 薄型テレビ等でプラズマと液晶が商品化されていますが、第3のディスプレイ材料として有機ELが注目されています。当社は、この有機EL材料に窒素を含んだ化合物をベースにユニークな中間体を供給する能力を有しており、国内外のエレクトロニクスメーカーから注目をされています。この有機EL材料の他にも、液晶ディスプレイの性能向上部材、その他のディスプレイデバイス用の材料を取り扱っています。
- ・ イオン液体はいわゆる塩(えん)です。塩(えん)の典型的なものは塩(しお)です。塩(しお)は常温で固体ですが、このイオン液体には、常温で液体性状を保つ性質や電気的な性能など、大変ユニークな特徴があります。キャパシタ用の電解質や化学工業での合成反応用溶媒や潤滑剤用添加剤など、大変広範な用途が見込まれており、現在、お客様と共同で開発を進めています。当社オリジナルのイオン液体がエレクトロニクス分野その他で既に一部使われ始めており、今年、来年、本格的にテイクオフするのではないかと期待しています。
- ・ ポリマー製造用触媒は窒素を含んだ化合物ではありませんが、窒素化合物の研究・製造を通じて得られた超高純度の製品を精製する技術や酸素や水に触れないで化合物をつくるという高度な技術を要する事業分野です。代表的な製品はメタロセン触媒といい、ポリプロピレンやポリエチレン等のポリオレフィン、あるいは合成ゴムの中でも

---

高い機能を発揮する高級製品に使われる触媒です。我々の知る限り、このメタロセン触媒を商業的に製造・販売できる企業は当社を含めて世界に 5 社程度しかないと認識しています。国内外大手石油化学企業が当社で製造した触媒を使ってポリマー製品を生産する日も近いでしょう。なお、既に国内の 1 社は商業ベースで当社の触媒を使用しておられます。

## 7. 経営成績

- ・ 売上高は、2005 年度までは 200 億円程度で推移をしていましたが、06 年度から顕著な増加をしています。07 年度には 250 億円を超える数字を計画しており、また、中期計画の最終年度である 09 年度には 280 億円を計画しています。
- ・ 売上高の増加を支えているのが新製品の売上高です。04 年以降、逐年増加しています。07 年度の 41 億円につきましては、これは既に実現可能な数字と考えています。09 年には 58 億円、トータルの売上高に占める比率も 20%を上回るところまで持っていこうと計画しています。
- ・ 売上高の増加に加え、事業全般にわたる合理化が功を奏し、大変な原燃料の高騰下ですが、経常利益は逐年増加しています。07 年度には 19 億円の経常利益を見込んでいます。09 年には、経常利益 28 億円、対売上高の比率で 10%のところまで伸ばそうとしています。
- ・ 純利益も逐年増加しており、07 年度には 10 億円の純利益を計画しています。この数字は当社史上最高の純利益となります。1 株当たりの利益につきましても、昨年度は 27 円でしたが、今年、この 10 億円が達成できると 40 円を超えるところまでまいる見込みです。

## 8. 各種指標の比較

- ・ ROE・ROA は、東証化学業種平均（2007 年 3 月期ベース）、当社（08 年 3 月期予想ベース）とも、ほぼ 8%内外で、当社は平均並みだと言えます。
- ・ EPS・BPS は、明らかに当社（08 年 3 月期予想ベース）が東証化学業種平均値（07 年 3 月期ベース）を上回っていると言えます。
- ・ PER・PBR は、当社の数値（08 年 3 月期予想ベース、株価は 07 年 10 月平均）は東証化学業種平均値（07 年 3 月末時点）を大幅に下回っていると言えます。これは、当社の株が現在比較的割安であるということを示した数字だと思えます。

## 9. 質疑応答

Q1. 御社の歴史において大きな変換点となった事柄について

A1. 90 年前に大阪で創業したのち、50 年前にペンタエリスリトール・アミン類・ピリジン類を開発して 40 年前に千葉進出したのが第 2 の創業期でありました。千葉集中を

---

行い、更に新しいコアテクノロジーに磨きをかける現在が第3の創業期であると思っています。

Q2. 御社の競争上の強みについて

A2. 競争上の強みは、当社が含窒素化合物については世界で有数である、スペシャリストである、パイオニアである、ソリューションプロバイダーであるということが、内外の医薬品メーカー、あるいはその他関連のメーカーに認知されていることかと思えます。例えば医薬品であれば、中に窒素の入った構造の化合物であれば必ず当社に声をかけていただけるというような関係があります。そして、同じ化学品でも、実は、つくりにくいもの、作りやすいもの、それから純度の高いもの、低いもの、いろいろございます。当社でなければできない、中国やインドメーカーではできない、そういう技術を常に磨いている、トップランナーでいることが当社の強みと考えています。

Q3. 原材料変動・為替変動等のリスクへの対策について

A3. ナフサを起点にするアセトアルデヒドならびにメタノールが主要原料となりますが、現在、非常に国際市況が乱高下をしている状況です。この主力の製品に占めるコストは相当高いため、こうしたコストの増加に対しましては、主に原料価格の変動に製品価格が連動するフォーミュラ方式を採用するなどにより、製品価格への転嫁を行っています。為替変動リスクですが、輸出が大体 40%ぐらいあり、かなりのリスク要因があります。そのため、売上の部分はできるだけ円建てにする、原料の支払いは円払いをドル払いに換えることで、できるだけドルでもらう額とドルで支払う額の差額を少なくし、それでも残ったドル債権は、適宜、為替予約でヘッジをおこなっています。

Q4. 有機 EL 材料についてはどのくらいの市場シェアを目指す計画か

A4. 有機 EL には必ず窒素が入った化合物が使われます。有機 EL の将来については未知数です。我々は、材料メーカーとして、液晶の材料も手がけていますし、有機 EL の材料も手がけていますので、どちらでも良いのですが、有機 EL は特別に注目しています。有機 EL メーカーは、どこが勝つのかまだわかりません。ただ、我々は全方位外交をおこなっており、どこの有機 EL メーカーが勝っても、ある程度我々の材料を使っていたような展開をおこなっています。

Q5. 東証1部へ移行する予定はありますか？

A5. 残念ながら、現在は東証1部上場の要件を満たしていません。例えば、株主数が1,200人程でまだ少なすぎるという状況ですので、今すぐにとするのは無理かと思えます。今後の検討課題として考えていきたいと思っています。

以上